

# 一般質問

## 町政を問う 6月定例会

### 一般質問に16名中12名が登壇



町のさまざまな問題・課題について、議員が町に考えを問うのが一般質問です。議員は政策提言も含め、質問することができます。ここでは、質問した議員ごとに一項目を要約してお知らせします。一般質問のライブ・録画配信が始まりました。顔写真横の二次元バーコードからご覧になれます。  
※一般質問の記事に関しましては、各自が編集したものを掲載しています。

## ◎ 実効的な避難所運営の訓練と防災士活用を

### ▲ 今後は実践的な活動への補助に移行していく



時松 智弘議員



避難所運営訓練に効果的な補助を

#### その他の質問

- ・水害の際の下水道施設の保全と避難場所のトイレの汚泥処理について

◎ 災害時避難所の指定は災害対策基本法第49条に定める市町村の義務行為であり、避難所の運営主体は防災計画で地域のコミュニティとしている。役場職員が24時間体制で避難所に常駐するのは本来の業務を阻害する。避難所生活は、コミュニティの濃縮と考え、実際に命を守る自主防災組織の避難所運営訓練が必要だ。

ある区では防災倉庫の目録を見るだけで訓練を終えたり、防災士自らが我先に逃げると放言したり町施策の浸透が不十分だ。  
物品購入から自主防災組織を実際に運用する事への補助に切り替え、防災士を連携させる考えはないか。  
避難所開設から職員は災害対応等の応急業務に加え、非常時優先業務に該当する中、通常業務を実施することになる。避難生活が長期化する場合は、早期に避難者による自主運営に移行することが重要で、自主防災機能の強化に加え、平時における行政と地域の共通認識の構築や、訓練が必要だと考えている。  
今後は実践的な活動への補助の移行を考えており、好事例等の共有をしながら防災力を高めていきたい。  
防災士の活動についても悩まれているところを解決し、しっかり連携していきたい。  
(町長)

特集①

定例会総括

議員質疑

執行部紹介

特集②

委員会レポート

一般質問

文教厚生委レポート

大学生レポート

## マイボトル(水筒)対応冷水機の設置を

A 入れ替えが必要な時期が来ている施設から設置したい



豊瀬 和久議員

### 現状の写真



### 施工例



非接触式で感染症予防対応

※触らずにマイボトルに汲めます！

#### その他の質問

- ・新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の活用について。
- ・乗合タクシーの対象エリアと乗車・降車区域の拡大について。

Q 大津町地球温暖化対策実行計画を、より実効性のあるものにするための取組として、プラゴミを減らすために、マイボトルへ直接、冷水を入れる冷水機を、総合体育館や庁舎などの公共施設に設置をするべきではないか。

A 町民がマイボトルを持ち歩くことで、SDGsの推進と、貴重な地下水について考えるきっかけにするべきだ。

Q マイボトルの利用によるペットボトル削減は、プラスチック製品の過剰生産、海洋汚染問題を解決する有効な手段の一つであり、給水スポットの普及は、その後押しになるものである。また、水資源について深く考えるきっかけにできると認識している。

A そこで、入れ替えの必要な時期がきているところを中心に、給水スポットの設置と、大津町の魅力的な水資源をPRできる施設の選定を指示している。(町長)

## 安定的な提供と業務の効率化を

A 今後も安定した供給を行いたい



田代 元気議員



大津町学校給食センター

#### その他の質問

- ・保育士の処遇改善について

Q 近隣自治体と比較し給食費が安い安定した提供は行われているのか。今後もTSMCの進出などで人口増加も予想されるが、現在のセンターだけで十分な対応が可能なのか。

A また、利便性の向上、公平性や効率的な観点から公会計の導入を進めるべきである。

A センターについては給食提供数の増加で狭小な状態のため、短期的な対応と中期的な計画の両面で調査を進めたい。(町長)

Q 地元J Aとの連携や4000食を超えるスケールメリットも活かしく安く食材の調達が可能だったが、これまでの方法では現在の世界情勢の中、解消できなくなっている。今後も保護者の負担を軽減しつつ安定した給食の提供を行いたい。

A また、公会計についても、さまざまな観点から、早期の導入を考えたい。(教育長)



## Q 立野ダムの名称変更を

### A 関係部署との協議があり、名称変更は難しい



山本 富二夫議員



**Q** 南阿蘇村の立野地区と大津町内牧区北向山原生林との間に治水対策の為に立野ダムが建設をされている。

**A** 大津町と南阿蘇村の間に建設をされているのに、名称が立野ダムでは大津町民としては違和感を感じる。大津・立野ダムの名称変更を国土交通省や関係部署に強く要望すべきだと思う。

以前は熊本市龍田から大津町までの国道57号線は大津街道杉並木と言われていたが、菊陽町の強い要望で、今は菊陽杉並木街道と言われている。関係部署に強く要望すべきだ。



夜間工事中の立野ダム

**その他の質問**

- ・都市計画と農振区域の見直しを
- ・町職員の鳥獣免許取得を

**A** ダムに関わる白川流域の沿線自治体が多いため、一自治体の要望のみで変更することは難しい。

変更には、再度名称の選定や、流域の八市町村の総意が必要となる。現段階からの大津町主導の名称変更は難しいと認識。

**A** 過去に大分県でななせダムというダムが、変更した事例がある。流域が大分市の一自治体であったので、名称の変更が出来たと伺っている。景観の整備方針の検討がなされている。

(都市整備部長)

(町長)

## Q メガソーラー建設の安全性を問う

### A 地域住民の安心安全な暮らしを守る



山部 良二議員

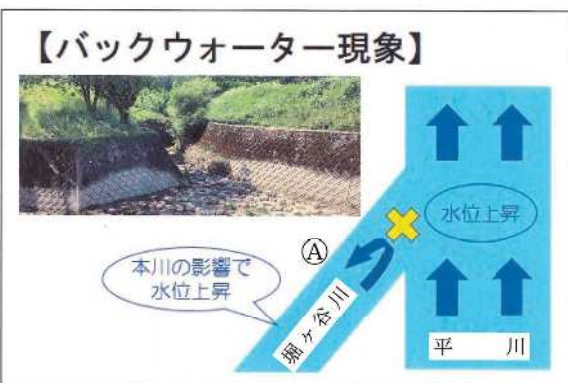


**Q** 日本各地でメガソーラーの建設が相次いでいる。本町でも、新たにメガソーラーの設置工事が着手されようとしている。確かにクリーンエネルギーは温暖化を防ぐためには、必要なエネルギーだと考えますが、森林の伐採に伴い、山の保水力が失われ土砂災害を誘発する危険性もある。平川と堀ヶ谷川の合流地点を調査したが、バックウォーター現象が起こりやすい地形ではないか、今後の線状降水帯による豪雨災害の危険性を考えるれば、太陽光発電設備

の適切な設置及び維持管理等に関する条例が必要ではないか。

**A** メガソーラー自体を規制する国の法整備が進んでいない現状がある中、独自にメガソーラー建設を規制する条例を制定している市町村も増加している。係争となっている地域もある状況ながら、条例の制定には定の抑制効果があると考えており、住民の安心安全を守るため条例を制定すべきと考えている。環境保全課・防災交通課などで連携しながら本格的な調査・協議を慎重に進めていく。

(町長)



**その他の質問**

- ・会計年度任用職員 処遇改善について
- ・コロナ禍における障害者・要支援者等に対する合理的配慮の提供について

## Q 清潔で管理しやすいゴミステーション補助増額を

### A ゴミ収集処理は町の責任として、調査検討する



荒木 俊彦議員

ゴミステーション 補助金額の例 荒木議員質問資料

補助の種類	大津町		菊陽町		岡山市		意数市	
	補助率	限度額	補助率	限度額	補助率	限度額	補助率	限度額
新設	1/2	6万円	1/2	5万円	全額	30万円	2/3	25万円
改修など	規定なし				全額	15万円	2/3	25万円
ネット支給等	規定なし		1/2	5万円				
資源物保管庫	なし		2/3	10万円	全額	15万円		



町営住宅に設置された  
ゴミステーション  
市販価格は、  
1台20万円前後

その他の質問

・高尾野森林公園外周に遊歩道整備を

**Q** 住民生活から排出される家庭ごみの収集は町の責任。清潔で管理しやすい「ゴミ収集ステーション」は町民生活の維持に欠かせない。町営住宅に町が設置しているゴミステーションは20万円以上費用がかかる。同じ物を自治会が設置したら町の補助は最高で6万円だけ。あまりにも少ない。またアパート管理者などにゴミステーションの義務化が必要では。

**A** ゴミの収集処理は町の責任であり、住民の関心の高い問題である。町内には約1330カ所のゴミステーションがあり、自治会や住民の方の要望を聞き、他自治体の状況も調べ研究する。アパートなどへの設置は開発指導要綱に基づき指導している。再生資源物の確実な収集はゴミ減量化につながり、民間回収も含めて必要と考える。(町長)

## Q 送金システムは万全か

### A 会計課と銀行間の送金システムは万全と思う



坂本 典光議員



大津町の会計課

その他の質問

・家族愛、高齢者を大事にすること、国を愛すること

**Q** 人口およそ3000人の山口県阿武町で低所得者層を対象とした新型コロナウイルス対策の給付金463世帯分4630万円を誤って別途24歳の男性の口座にも振り込むという二重送金が起こった。大津町の送金システムは大丈夫か。町民を守るために、個人がATMから送金する時の注意点を呼びかけるべきではないか。

**A** 決済後の支出伝票の総合計と会計係長のデータの総合計及び伝票の支払い状況の総合計3つが合致した後、指定金融機関にデータを送信している。自信を持って間違いないと言いうことができる。(会計管理者)

**A** 送金システムは万全と思っているが一方ではミスが起こることを想定して注意したい。個人の送金ミスは広報誌で注意を促す。(町長)



## Q 肥料、飼料の高騰への対策は

### A 農業者に対して事業者支援対策を行う



大村 裕一郎議員



**Q** 現在、農業において必要な肥料や飼料は為替相場の急激な円安への進行や原料の産出量の多い国からの輸出停滞、国際市況の高騰により史上類を見ないような高騰を見せている。

このままでは、多くの農業に従事している方が壊滅的な打撃を受け離農せざるをえない状況に追い込まれてしまう。早期に協議を開始し、対策を打つべきではないか。

**A** 物価高騰の影響を鑑み、大津町として原油及び物価高騰の影響を受けている農業者に対し、事業者支援対策を行う。また、新型コロナウイルス感染症や円安、ウクライナ情勢などを踏まえると現在の状態が長期化する

ことも懸念されるため、国、県の価格高騰に対する支援を注視し、早急かつ実効性のある緊急対策の早期実現を国へも強く働きかけていく。(町長)

#### その他の質問

・有害鳥獣対策について

## Q 保護者負担軽減の為、学校給食を無料化へ

### A 現状では全児童生徒の給食費無料化を直ちに実施する事は難しい



面川 秀貢議員



**Q** T S M C の進出により、本町にもチャンスが来ている。給食費の無料化により、子育てしやすい環境を整え、子育て世帯の定住と新たに流入を促す事が、住民税の増収や子育てに係る消費の拡大に繋がり、経済の活性化に繋がる。

目先の事だけでなく先を見据えた町独自の施策が必要ではないか。給食とは食育にも活用されており教材でもある。義務教育の範囲に入れるべき、そう言う考え

もある。近隣町村との差別化策として、早急に取り組むべきである。

**A** 本町は長年、小中学生は増加傾向、また未就学児も上昇傾向であり、T S M C の動きもあり増加していく事が見込まれている。今、住暮らす子供たちの為に学校の増築、学童の新設、給食センターの建て替え等が必要となる。財政的な制約がある中での全体的予算、数字の分析、ともに考えていく必要がある。(町長)

#### その他の質問

・農業及び商工業の後継者及び事業承継について  
・コロナ禍の中での本町の学力向上の取り組みについて

## Q 「協定」「実証実験」の説明が不足

### A 意見を踏まえ、再度議論し判断する



佐藤 真二議員



人工知能「しづおとろく」くん(AIチャットボット)に聞いてみよう!  
「住民問合せ対応サービス」の実証実験中

町ではAI(人工知能)を用いた「住民問合せサービス」の実証実験を行っています。このサービスはパソコンやスマートフォンからの文字入力により、「しづおとろく」くんが会話形式で回答し、協議をホームページ(町ホームページ)に連携することで、24時間必要な行政サービスの内容や手順などを案内するものです。利用費アンケートにも協力ください。

- 対象分野  
子育て、住まい、ゴミ、健康・医療、戸籍、相続、マイナンバー、国民年金、税、福祉、年金受給、学校・教育、高齢者・介護、防災、文化・観光、交通・防災、人権、新型コロナウイルス感染症対策など
- 実証実験期間 5月31日(月)
- 利用するには  
QRコードまたは2次元バーコードからアクセスしてください。また、町ホームページからも利用できます。  
URL: <https://ai-saki.net/ku/chat/>
- 利用方法  
項目の選択やキーワードの選定を行ってください



昨年5月頃に行われた実証実験  
実験の結果もその後の対応も不明

#### その他の質問

・不登校児童・生徒の民間施設での活動への経済的支援

Q 例えば姉妹都市など過去の協定は途絶えたままのものがある。大学などとの包括的連携は現在の状況がわからなくなっている。

A そうですね、この1年数か月間の町長就任後に結ばれた協定の中には、理念のみが説明され、具体的な内容や活動や成果、町の負担が全く見えないものも多い。

これらを今後どのように説明していくか。

A 包括協定の場合には、協定を結んだものの、具体的な動きが住民にわかりにくいことや、取組

が曖昧になること、さらに、過去に結んだものの形だけ残るといった点も起り得る。

新たな協定締結では、必ず当初に取り組む具体的な内容を決め、広報を中心に発信しているが、導入の部分がメインになってしまっている。

過去の協定に関しては、今回洗い出しをしたので、新たな協定も含め、今後しっかりと整理する。

また、より詳細な目的や成果を含めた住民への説明に関しては、改善の余地があるので、説明に(町長)

## Q 安心して使用できるトイレに

### A 誰でも安心して使用できる観点は重要



三宮 美香議員



学校トイレ個室に設置された生理用品

#### その他の質問

・工場進出による環境汚染の懸念に関する問題について  
・大津町の活性化のためにPR大使を設置任命してはどうか

Q 昨年の9月に「学校のトイレに生理用品をトイレットペーパーと同様に常備できないか」と提案があり、準備ができた「学校から進める」と回答が出ていたがその後、進んでいるのか。「安心」という意味でも設置は進めるべきだ。

A また、男性も病気や加齢により尿漏れパットが欠かせない人がいる。高齢化・多様化社会への対応としても、男性トイレにも必要な配慮を考えるべきではないか。

A 昨年の提案を受け、各学校でアンケート調査や性に関する教育を実施した上で常備している。基本的にトイレ個室内に工夫して設置し、現在は全ての学校に常備している。

(教育長)

A 誰でも安心して使用できるトイレの観点は重要だと認識している。地域福祉で目指す項目の一つである「外出の機会を増やすことでの社会参加の推進」にも影響が出ると思われる。まずは役場男性用トイレへのサンタリーボックス設置を進めていきたい。(町長)



※新型コロナワクチン接種について  
 ※スマホやPadの教育におけるデメリットについて  
 ※JR九州と県と大津町



永田 和彦議員

**新型コロナウイルスの後遺症について**

**最新研究が示す 恐るべき真実**

私たちは1日に2600回以上スマホを触っている

1日2時間を超えるスクリーンタイムはうつ病のリスクを高める

ポケットにスマホを入れておくだけで学習効果は著しく低下する

新潮新書 **スマホ脳**  
 アンデシュ・ハーンセン 久山繁子(訳)

※新型コロナワクチン接種について

ワクチン接種の推奨や罹患後の後遺症啓発など  
 ※スマホやPadの教育におけるデメリットについて  
 ビルゲイツやステイーブジョブズはなぜ自分の子供たちに使用制限したのかなど

※JR九州と県と大津町

JR九州は空港接続駅を肥後大津が有望、TSMCは自分を中心に円を描く、町の戦略が見えてくるなど

※町民の皆様にお願ひ申し上げます。

議会使用の内容はそれぞれの主観に基づいて書かれ実際の議会内容とは違うと思われるものもあります。

録画記録を配信しておりますので議員各位の議論を観て評価をお願いいたします。

**文教厚生委員会  
 視察レポート**

令和4年5月31日 阿蘇農村公園あびか  
 阿蘇市 公共施設指定管理についての行政視察



公共施設指定管理についての先進自治体である阿蘇市の「阿蘇農村公園あびか」について担当課と管理者である(株)ASOワークネット様から説明を受けました。

阿蘇市では行政からの年間支出額は約2300万円、あびかの他、体育館、一の宮町にある運動公園の維持管理、運営もされていきました。

あびかの陸上競技場は年間30以上の大学・社会人の陸上部が合宿に訪れており、地域への経済効果の発展にも寄与しているとのことでした。

また、視察当日も女子実業団陸上部が合宿を行っていました。

社会体育施設の予約方法についても、オンラインで予約可能で、空き状況の確認も行うことができ、簡単に予約ができる仕組みができていました。

今回の視察を受け、町民へのサービス向上につながるようにつとめます。